

1. 国土強靱化地域計画に関する説明会の開催（上川）



国土強靱化地域計画に関する説明会
(11/13～上川総合振興局_旭川市)

10/11の十勝での開催に続き、内閣官房国土強靱化推進室職員を講師に迎え、上川管内を中心とした12市町の防災・企画担当職員に参加いただき、地域計画に関する説明会を開催しました。

説明会では、地域防災計画と強靱化計画との違いについて「災害予防や応急体制の整備など共通する点もあるが、強靱化計画はエネルギー供給や流通機能の強化など、発災前の“社会経済システム”の強靱化も含む」との説明や、リスクシナリオの設定では「阪神・淡路など全国で起きた大災害

を例に、どのような災害が起こり、その結果どのような被害や対応に追われたのか・などのイメージーションが大切であり、それにより具体的な脆弱性評価や対応方策の検討ができる」などの説明がありました。

2. 釧路市強靱化計画有識者懇談会

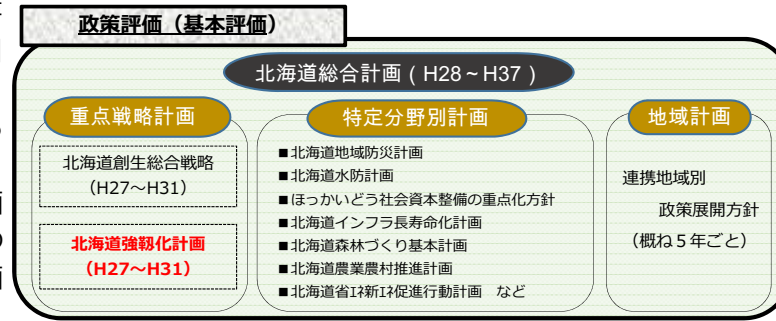
釧路市では、各分野別における個別計画の最上位指針である「釧路まちづくり基本構想」を策定中です。また、構想が示す目指すべきまちづくりを進めるため、平時に有効活用され、非常時にも防災・減災の効果を発揮する視点を持った施策により、強さとしなやかさを持つ地域社会を築くことを目的とした「釧路市強靱化計画」の策定作業が、平成30年度からのスタートに向けて進められています。



有識者懇談会（釧路市役所）

11/28、有識者懇談会が開催され、計画素案について意見交換が行われました。素案では、テーマを共有し、共に行動することで地域のつながりや信頼関係を強め、地域課題を解決するという“域内連関”の考え方を取り入れ、「人と人とがつながる、災害に強い地域社会・地域経済の実現」を基本目標の1つとしていることが特徴に挙げられます。また、過去に大きな地震が繰り返し発生している地域として、地震や津波を想定した避難体制の整備を着実に進めるとともに、2つの国立公園を有する地域として、国内外からの観光客に対する情報伝達の強化や、大雨等災害時に遊水機能を持つ釧路湿原の保全に対する啓発・周知を図るほか、地域の石炭資源の活用によるエネルギーの分散化に取り組むなど、地域特性に応じた“釧路らしい内容”となっています。

3. 北海道強靱化計画の推進状況（中間点検）



道ではPDCAサイクルにより、北海道強靱化計画を着実に推進しており、今回、政策評価において、各施策の取組状況や指標（目標値）の達成状況などについて、北海道総合計画等と一体で中間点検

(Check) を実施しました。昨年の大雨災害を踏まえた河川改修等の治水対策では、限られた予算の中、被害を受けた河川や、人口が集中する都市部の河川などでの対策工事が、重点的に着実に実施されているなど、概ね順調に進捗している施策がある一方で、目標の達成に遅れが見られる施策も一部見受けられました。そのため、今後の予算編成過程等を通じた施策の検討・事業化を踏まえながら、平成30年度の具体的な施策の推進方策である「北海道強靱化アクションプラン2018」に反映していきます。

4. 国土強靱化地域計画の策定状況

管内	道内の市町村		
	策定済	策定予定	市町村数
石狩	札幌市 (H28.1)		1
檜山		江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町、奥尻町、今金町、せたな町 (未定)	7
上川		美瑛町 (H30.3)	1
釧路		釧路市 (H30.3)	1
合計 (全国)	1 (47)	9 (44)	10 (91)

※平成29年12月1日現在（内閣官房国土強靱化推進室HP）

札幌市が既に策定済み（H28.1）であるほか、釧路市と美瑛町が今年度末の策定に向けて作業を行っています。

また、檜山管内の7町が新たに策定予定（H29.11公表）となり、各町の企画担当部局を中心とする全体会議を通じ、地域に共通する災害リスクへの対応などの情報を共有しながら、検討に着手しました。

北海道では引き続き、市町村地域計画の策定促進に重点的に取り組みます。

5. サポートします。地域計画策定！

国土強靱化地域計画の策定を検討されている市町村へご説明に伺います。計画についての質問もお気軽にお寄せください。

市町村の皆様からの連絡をお待ちしています。

北海道強靱化計画

検索